

第2期みやぎの教育情報化推進計画(計画期間:平成29年度～平成31年度)の概要

【計画策定の趣旨】

本県では、平成25年3月に「みやぎの教育情報化推進計画」を策定し、教育の情報化を推進してきた。一方、今日の情報通信技術の進歩は著しく、新しい通信技術やそれを生かした学習支援、あるいは、情報化の影の部分への対応に加え、21世紀を生き抜くための基盤となる情報活用能力の育成が喫緊の課題となっている。このようなことから、現在策定中の「第2期宮城県教育振興基本計画」において掲げている「ICT教育の推進」や本県教育の情報化の現状及び課題等を踏まえ、新たな行動計画である教育情報化推進計画を策定した。

【計画の目的】 情報化社会・グローバル社会において主体的に学び、考え行動するみやぎの児童生徒の育成

教育の情報化(3つの柱)

情報教育：情報活用能力の育成

教科指導におけるICT活用：わかりやすく深まる授業の実現

校務の情報化：校務の情報化による教育の質の向上

【施策の基本方向1】 情報教育の充実

- 【現状・課題】
- 1 情報教育を行うための計画的・体系的な取組が重要
 - 2 情報セキュリティを含む情報モラルを指導力する能力の向上
 - 3 スマートフォンやSNSの急速な普及によるトラブルや生活リズムの乱れ等への対応
 - 4 学習指導要領の改訂など、新たな教育環境の変化

- 【基本方向を実現する取組と主な施策】
- 1 **体系的な情報教育の推進**
 - ・市町村における教育情報化推進計画策定の推進と第2期みやぎの教育情報化推進計画の着実な実施
 - ・各教科での情報活用能力の育成
 - 2 **情報モラル教育の推進**
 - ・情報セキュリティを含む情報モラル教育の理解と研修の推進
 - ・情報モラル教育における家庭・地域との連携
 - 3 **学習指導要領の改訂等の新しい方向性に向けた対応**
 - ・学校を取り巻く変化への対応に向けたICT教育環境の検討と整備

【施策の基本方向2】 教科指導におけるICT活用の推進

- 【現状・課題】
- 1 ICTを活用したわかりやすく深まる授業の実現
 - 2 ICTの進展に対応する高度な専門教育の実践
 - 3 諸事情により学校に通うことができない児童生徒に対する学習の支援
 - 4 「教員のICT活用指導力」や「学校におけるICT環境の整備」において全国平均よりも低調

- 【基本方向を実現する取組と主な施策】
- 1 **教科指導におけるICT活用「MIYAGI Style」の普及と定着**
 - ・「MIYAGI Style」によるわかりやすく深まる授業の実践と着実なICT機器整備の推進
 - 2 **産業を担う専門高校や専門学科でのICT活用の充実**
 - ・地域企業や高等教育機関と連携したICTを活用した授業の促進
 - 3 **教育機会を保証するためのICTの活用**
 - ・ICTの特性や強みを生かした学習機会の提供
 - 4 **教員のICT活用指導力の向上**
 - ・総合教育センターによる専門的・総合的なICT活用研修の充実

【施策の基本方向3】 特別支援教育での活用

- 【現状・課題】
- 1 児童生徒一人一人の特性や発達段階に応じたAT (Assistive Technology: 支援技術) を活用した教科指導や社会参画への支援
 - 2 個々の児童生徒の教育的ニーズに即したきめの細かい指導の充実
 - 3 情報教育の教育課程への位置付けの推進

- 【基本方向を実現する取組と主な施策】
- 1 **児童生徒一人一人の特性に応じた「@MIYAGI Style」の普及と定着**
 - ・児童生徒一人一人の特性に応じたICT活用の充実と推進
 - 2 **ICTを活用した個別の教育支援計画・指導計画の共有による個に応じた支援や指導の充実**
 - ・一人一人の学習目標を明確にした指導体制の推進及び情報教育の充実

【施策の基本方向4】 校務の情報化の推進

- 【現状・課題】
- 1 統合型校務支援システムの整備率が全国平均よりも低調
 - 2 「児童生徒と向き合う時間の確保」による教育の質の向上
 - 3 学校ホームページによる情報発信
 - 4 スマートフォンなど、多様な通信媒体への学校からの情報発信力の充実

- 【基本方向を実現する取組と主な施策】
- 1 **学校運営支援統合システムの利用促進と普及**
 - ・県立高校でのシステムの普及・定着と特別支援学校や市町村教育委員会への導入促進
 - 2 **ICTを活用した地域や保護者への情報発信**
 - ・学校ホームページ等のインターネットを活用した情報発信力の強化

【施策の基本方向5】 学校におけるICT教育環境の整備

- 【現状・主な課題】
- 1 教育の情報化を推進、支援する体制の充実
 - 2 「教員のICT活用指導力」や「学校におけるICT環境の整備」において全国平均よりも低調
 - 3 個人情報の漏えい、コンピュータウイルス、不正アクセスなど、情報セキュリティリスクの増大

- 【基本方向を実現する取組と主な施策】
- 1 **教育の情報化を推進、支援する体制の整備**
 - ・教育の情報化を支える体制と支援する取組の充実
 - 2 **教育の情報化を支えるインフラの整備**
 - ・宮城県教育情報システム (SWAN II) の再構築の推進
 - ・市町村教育委員会におけるコンピュータやネットワークなどのインフラ整備の推進
 - 3 **情報セキュリティの確保**
 - ・職員一人一人に対する意識啓発と各種研修会の活用による情報セキュリティ事故の防止
 - ・安全・安心なネットワーク環境の整備

※ 表中の下線部は、基本方向を実現する取組のうち、新規の取組を示している。